

山口県介護福祉士会設立30周年 山口県介護福祉士会会長 SPECIAL INTERVIEW



(前)山口県介護福祉士会会長
鳥居 紀子
広島国際大学客員教授



(株)山口県介護福祉士会
下関ブロック長
富田 陽治
ふれあい編集長

対談

対談と言いながら一方的な
インタビューですけどね

会員であるメリットとは出会いや交流 そして仲間との学び、学ぶことは喜びである

当時、熊本県でも同様に介護福祉士の職能団体立ち上げを模索していたところ、経営サイドの団体から「労働組合を作るのではないか？その様なことは許さないことの猛反発が起り、一度立ち上げを断念する事態が発生しておりました。これを受け、全国の介護福祉士職能団体立ち上げメンバーは衝撃を受け、とても慎重に進めることとなりました。山口県

設立にあたり大変なご苦労もあったのではないですか？

この国家資格取得の繋がりで、学ぶこと、探求すること、獲得すること、そして介護を目指す意義をみんなと共有したいと思い、山口県開催の模擬試験会場でお友達になった安江美行様とともに喜びを共有するなかで、久保田トミ子先生からは「介護福祉士という国家資格がスタートしたのだから、山口県でも職能団体を立ち上げてはことのご提案(香川県ではスタートしていました)がきっかけとなりました。山口県社会福祉職員研修所の安江、央水様や事務方のご協力もいただき、立ち上げをスタートいたしました。

昔は家母的な考えだったんですね。介護福祉士国家資格制度が始まり随分と状況が変わりましたね。どの様な感じてましたか？

当時の施設長など経営サイドのお考えが「家母なんて、資格や学歴などはいらん。子育てを済ませた位で優しけりやええ!!」と技術や知識を求められていましてした。しかし、介護に対して国から介護福祉士国家資格制度が成立し、1989年1月に第1回目の国家試験がスタートし過去問題もなく手探りの状態でしたが「合格率を全国で10番以内を目指す!!」と山口県社会福祉職員研修所の山本圭介所長や職員の皆様のご尽力により各方面からの情報収集をいただき、また実技試験対策では当時、宇部短期大学の久保田トミ子先生を始め多くの方々の講座が設けられ、私も第1回合格者となりました。こ

組みでした。比べとても先進的な取り組みでした。

「合格率を全国で10番以内を目指す!!」と山口県社会福祉職員研修所の山本圭介所長や職員の皆様のご尽力により各方面からの情報収集をいただき、また実技試験対策では当時、宇部短期大学の久保田トミ子先生を始め多くの方々の講座が設けられ、私も第1回合格者となりました。こ

組みでした。比べとても先進的な取り組みでした。

今回、山口県介護福祉士会が30周年を迎えるにあたり設立時の状況や経過をお話しいただけないでしょうか？まず、設立前の介護のことなどからお願いします。

山口県介護福祉士会が設立30周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。私の在任期間中は、関係行政機関を始め、会員の皆様方の多大なご指導ご鞭撻を賜りましたこと、深く御礼申し上げます。

県介護福祉士会は会員数増で日本一の会合でとても良い評価をいただきました。介護の事例研究、介護技術等さまざまな研究テーマに沿って会員の皆様は介護に関しての繋がりで、学ぶこと、探求すること、獲得すること、に真剣に向き合い、取り組みをしていること、山口県介護福祉士会には共感を呼び大きく広がってまいりました。広い山口県全域から多くの会員様が目的をもって集まり、またそれをサポートする理事会と一致団結して、責任の重圧など苦勞もございましたが人生をかけたやりの感じておりました。

そのような感じて、山口県介護福祉士会を立ち上げられ、会員数では当初は多かったですよね。

何にもまして素晴らしい日々でした。模索・研究・実践、習得ができたのは、何にもまして素晴らしい日々でした。

世界が広がったことの喜びは格別で、あ頃は皆さん希望に燃えて学び合っていたなあと懐かしく思い出します。介護福祉士会を通じて気づき、

また、それまでは、本当にありがたいことでした。

お陰様で研修会等の開催ができるようになりました。その頃から増え始めていた認知症の方々との関わり方がまだよく分からない状態で、介護職は試行錯誤しながら支援をしていましてが、東京から認知症専門の竹内孝に医師などの講師をお招きして研修会ができるようになったのは、本当にありがたいことでした。

設立後の取り組みはどのような感じてましたか？

なんと、第1位だったそうです。率が高くて第3位、翌年の合格率がなんと、第1位だったそうです。

山本圭介様、安江央水様、久保田トミ子先生方のお陰で、1992年3月、渡辺武子会長、伊藤チズ子副会長のもと、全国でもいち早く設立総会を開催することができました。ちなみに山口県介護福祉士の第1回目の国家試験合格率が全国で第3位、翌年の合格率がなんと、第1位だったそうです。

も早々と宣言して潰されてはいけな

ごありがとうございました。

今年山口県介護福祉士会設立30周年でこの機会を

に盛り上げていけたらと思います。

「介護」のニーズはますます重要となつてきます。介護のプロフェッショナルである技能集団として益々

山口県介護福祉士会の会員の皆様、

世界での気づき・問題・未来を模索し研究し獲得してください。

山口県介護福祉士会の会員にコメントをお願いします。

この世界で目指している先は、医療・看護の方々や関係行政機関、多くのご家族様の思いと同じ方向をきちん

直した方がいとおもいます。そのことがとても喜ばしく、私達「介護」の世界で目指している先は、医療・看護の方々や関係行政機関、多くのご家族様の思いと同じ方向をきちん

長い間、介護を伝える立場にいら

いす。

歴史を

の責務は、会員が所属の枠を超えて交流し、学びあって社会的

福祉士会の設立に

合同会社 和の会代表

山口県介護福祉士会

設立30周年を祝して

久保田トミ子

初年度認定

2代目伊藤チズ子会長

ご

の

の

の

の

の

の

の

の

の

会員証
山口県介護福祉士会
設立30周年記念
2022年3月31日
会員番号 NO.055
あなたのご活躍を応援しています

山口県介護福祉士会
設立30周年を祝して
広島国際大学名誉教授
合同会社 和の会代表
久保田トミ子
初代渡辺武子会長
2代目伊藤チズ子会長
(前)鳥居紀子会長
日本介護福祉士会
所属支部山口県介護福祉士会の
会員番号NO.055の会員証
あなたの会員番号は何番?
jik

ご挨拶

河本由美会長

山口県介護福祉士会は、今年で30周年という大きな節目を迎えることができました。これはひとえに、設立時から久保田トミ子氏を始め多くの方々から支えられたことなど、歴代の会長・諸先輩方を始め、理事や会員の皆様方のたゆみないご努力の賜物と感謝いたしております。

また、30年という年月を重ねてこられたことを共に喜び合いたいと思います。今後40周年、50周年に向けて介護福祉士会は、職能団体としての役割を遂行していくために、社会の変化により、多様化・複雑化していくニーズに対応する力を養い、介護福祉の分野を牽引していくことも介護福祉士の必須の役割と考えられております。「介護福祉士の未来は介護福祉士自身が切り開くことを実践していくためには、会員の増員・組織強化に加えて、介護福祉士が自らの学びを深め、専門職能団体としての存在や役割を社会へ発信していくこと、さらには、人材育成のための介護リーダー及び講師の育成に力を注いでいくことが近々の「最重要課題」と捉えております。これは、会員の皆様のご協力無しには成し得られません。最後にりましたが、今後とも皆様方の強いご協力をいただき、共に歩みを進めていきたいと願っております。引き続きご指導、ご鞭撻をよろしく願いました。

日本介護学会in山口/カフェセミナー



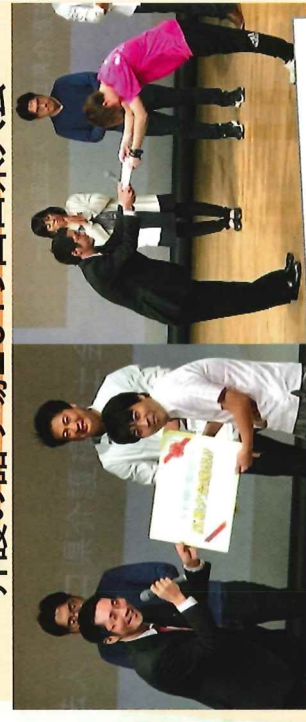
山口県介護福祉士会設立

- 渡辺武子会長就任 平成14年4月
- 鳥居紀子会長就任 平成16年4月
- 会計・事務等を県社協に業務委託契約 「高齢者ケアガイドライン」初版 平成17年3月
- 介護事例研究への取り組み開始 平成17年5月
- (各ブロックで研究に取組み、年1回山介で発表 優秀事例論文については、全国大会等にて発表)
- 第11回中国・四国ブロック研修会 開催 平成17年7月
- テーマ「介護福祉士の専門性とは」
- 介護予防体操講師養成研修スタート 平成21年4月
- 東日本大震災災害ボランティア 宮城県へ派遣 平成23年4月
- 一般社団法人に法人化 平成23年7月
- 青年部活動開始 平成26年4月
- 第12回日本介護学会 開催 平成26年10月
- テーマ「現場から立ち上がる介護福祉士の専門性」
- 実践・教育・研究—

第21回中国・四国ブロック研修会in山口



介護の語り場2019山口県大会



私たちと一緒に活動しましょう!

私たちが介護福祉士のために
今から介護福祉士を目指す人のために
介士会で横の繋がりが、仲間作りをして
私たちとともに悩み、学びましょう!

山口県介護福祉士会青年部



職場の人も
介士会に誘って
一緒にしよう!

下関支部小野田ブロック
ソフトバレー交流会

青年部の活動では地域清掃や交流会、ちよるふくカフェやさまざまな行事を行っています!

岩柳周南ブロックボウリング大会

ちよるふくカフェのご案内!

介護現場で働く若者や介護を目指してみようと思っている人、将来介護の仕事しようと考えている学生の皆さん、毎月ZOOMを使ってオンラインでカフェを行っていますので若人の皆さん是非、お立ち寄りください。



青年部は
45歳までの年齢限定あり



事務局は
陰の立役者!



一般社団法人 山口県介護福祉士会

事務局にお問合せください。

〒754-0893 山口県山口市秋穂二島1062

TEL 083-987-0122 FAX 083-987-0125

E-mail info@yamaguchi-kaigo.jp

山口県セミナーパーク内

平日のみ (8:30~17:15)

☎083-987-0122